

ごとうしかたろう

後藤藤鹿太郎

(1837~1916) 富士緒井路の企画立案者

天保8年 軸丸(緒方町)生まれ

農民の強訴運動や干ばつを見て、井路開削の決意を固める。考案した独特の測量法で水源地の探査を始めた。数年かけて水源を発見し、小富士村に井路開削計画を提出。23年後の大正3年に井路通水。77歳のときであった。

参考:『大分県歴史人物事典』